

令和4年中の火災・救急・救助件数について(速報値)

四日市市消防本部

令和4年1月1日～令和4年12月31日までの1年間に四日市市消防本部管内(四日市市、三重郡朝日町及び川越町)で発生した火災・救急・救助件数は次のとおりです。

- 火災発生件数 79件(昨年より+5件)
- 救急出動件数 17,035件(昨年より+2,626件)
- 救助出動件数 155件(昨年より-8件)

1 火災発生状況

(1) 火災発生概要

令和4年中の火災は79件で、前年の74件と比較して5件の増加となりました。

令和4年中の火災種別では、「建物」火災が42件で全体の(53.2%)で最も多くなりました。「建物」火災の内、住宅(共同住宅等を含む)が、20件で前年の23件より3件減少となりました。

次いで「その他」火災27件(34.2%)、「車両」火災は10件(12.7%)、「林野」火災、「船舶」火災は、発生していません。

月別発生状況は、9月、10月が10件と最も多く火災が発生しています。一方、1月が2件と最も少なくなっています。

過去5年間の火災発生件数

種別	平成30年	平成31年 ／令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
建物	63	60	50	37	42
車両	18	8	11	12	10
船舶	0	1	0	0	0
林野	2	3	1	1	0
その他	27	20	28	24	27
計	110	92	90	74	79

※「その他」とは「枯草、ごみ集積場などの火災」等

(2) 出火原因

出火原因は、「こんろ」が9件で、第1位となっています。次いで、「放火」(放火の疑いを含む。以下同じ)と「たばこ」が8件となっています。

過去5年間の主な火災原因

年別	平成30年	平成31年 ／令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
1位	放火 17件	放火 14件	放火 17件	放火 9件	こんろ 9件
2位	たばこ 10件	たばこ 9件	たき火 8件	たき火 6件	放火 たばこ 8件
3位	たき火 7件	たき火 8件	たばこ 7件	たばこ こんろ ストーブ 5件	配線 たき火 7件

(3) 火災による死者

火災による死者は、2名発生し、前年と同様となっています。

(4) 火災による負傷者

火災による負傷者は、10名発生し、前年より3名の減少となっています。

(5) 火災による損害

火災による損害は、火災件数は5件増加していますが、損害額は減少する見込みです。

過去5年間の損害額 (千円)

年別	平成30年	平成31年 ／令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
損害額	158,292	481,993	290,017	114,536	未確定

2 救急出動状況

令和4年中の出動件数は17,035件で、前年の14,409件と比較して2,626件の増加となりました。

事故種別では、「急病」が11,755件(69.0%)で最も多く、次いで「一般負傷」が2,296件(13.5%)、「転院搬送」が1,216件(7.1%)、「交通事故」が1,121件(6.6%)となっています。なお、「急病」は、昭和47年以降から毎年連続して事故種別の第1位となっています。

過去5年間の救急出動件数

種別	平成30年	平成31年 ／令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
急病	10,655 (67.0)	10,389 (66.7)	8,975 (66.0)	9,701 (67.3)	11,755 (69.0)
交通事故	1,408 (8.8)	1,259 (8.1)	1,103 (8.1)	1,058 (7.3)	1,121 (6.6)
一般負傷	2,144 (13.5)	2,126 (13.6)	1,990 (14.6)	2,025 (14.1)	2,296 (13.5)
転院搬送	1,064 (6.7)	1,127 (7.2)	965 (7.1)	1,044 (7.2)	1,216 (7.1)
自損行為	94 (0.6)	124 (0.8)	128 (0.9)	113 (0.8)	142 (0.8)
労働災害	163 (1.0)	171 (1.1)	131 (1.0)	155 (1.1)	184 (1.1)
加害	59 (0.4)	68 (0.4)	65 (0.5)	55 (0.4)	64 (0.4)
運動競技	101 (0.6)	124 (0.8)	85 (0.6)	99 (0.7)	107 (0.6)
その他	222 (1.4)	197 (1.3)	161 (1.2)	159 (1.1)	150 (0.9)
計	15,910	15,585	13,603	14,409	17,035

※ () 内の数字はその年の出動件数に占める比率(小数点第2位を四捨五入)

※ 「その他」とは「火災」「水難」「医師搬送」「資器材搬送」等

3 救助出動状況

令和4年中の出動件数は155件で、前年と比較して8件の減少となりました。

事故種別の内訳としては、「交通事故」が48件(31.0%)と最も多く、次いで「建物事故」が46件(29.7%)、「その他」が42件(27.1%)、「水難事故」が9件(5.8%)、「火災」が6件(3.9%)と続いています。

過去5年間の救助出動件数

種別	平成30年	平成31年 ／令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
交通事故	47	57	50	54	48
建物事故	33	44	52	67	46
水難事故	10	6	7	9	9
火災	13	4	1	4	6
機械事故	1	1	0	3	4
その他	17	19	20	26	42
計	121	131	130	163	155

※ 「その他」とは、河川敷等への転落、車内への閉じ込め等